

【かやの木資料館とその周辺の山林にて】

子どもたちは、かやの木資料館とその周辺の山林を訪れ、まず、かやの木資料館の館長である講師の尾中氏の案内で山歩きをしました。講師は、熊野地方に古くから伝わる「なすび選り」による林業を行っている林業家で、子どもたちに、なすび選りによる林業の方法や、森林環境の保全などのお話をいただきました。また、シカやイノシシから木を守るために石垣や、植えた木にネットをかけて食害から守る方法、イノシシを捕まえるための落とし穴跡などを見て歩き、獣害について問題意識を持ちました。



かやの木資料館では、木挽きが使用したノコギリや木を登るときに使う「かるこ」などの山林道具を見学しました。刀鍛冶の方から、のこぎりやなたの手入れの方法など、地域の林業を支える道具のお話を伺いました。



また、大のこぎりで木挽き体験を行い、地域の伝統林業についてお話を聞きました。

【小学校にて】

講師の辻本氏に学校へ来てもらい、シカ、イノシシ、サルによる苗木や農作物への被害について教えていただきました。また、捕まえた野生生物の資源としての有効活用についてのお話も聞き、農山村で問題となっている獣害について学びました。

なすび選りの森の名手・名人
森づくり！尾中鋼治さん

「なすび選り」は、約200年前から紀州地域に伝わる林業の方法で、大きくなつた実から順番に収穫するナスピと同じように、大きく育った優良木から順番に切り出します。尾中さんは今でもこの方法で木を切り出しています。一度に全部の木を切らぬいため、同じ場所で何度も木の収穫が行えます。木を切った後は必ず苗木を植えるため、尾中さんの森では古い木と新しい木がいっしょに育っています。

▲尾中さん
スギの木に登って皮を剥ぐ
「立ち皮剥ぎ」の名人

プログラム概要

内容	・三ッ口山見学と体験 ・かやの木資料館見学と山歩きをしながらの森のお話 ・獣害についてのお話
時間	合計 9 時間
場所	・三ッ口山（熊野市五郷町） ・かやの木資料館とその周辺の山林 ・小学校教室
対象	全校児童 12 人
講師	森のせんせい：辻本力太郎氏 森のせんせい：尾中鋼治氏
備考	公益社団法人三重県緑化推進協会 森林環境教育促進事業助成金を活用